



広島県三原市

三原城跡



三原市公式
マスコットキャラクター
やっさだるマン

三原城は戦国武将・毛利元就の三男である、小早川隆景により永禄10年（1567年）に築城された海城です。江戸時代初期に現在のような城郭に整備され、その姿が海に浮かんで見えたことから「浮城」という別名でも呼ばれています。現在では、天主台・船入櫓・本丸中門跡などの石垣や濠を見ることができます。平成29年（2017年）には（公財）日本城郭協会が設定した「続日本100名城」に選定されました。

市内にある米山寺には国の重要文化財の「絹本著色小早川隆景像」が所蔵され、小早川氏の宝篋印塔20基が立ち並んでいます。

また、小早川隆景が毛利元就夫妻を弔うために建立された宗光寺の山門も国の重要文化財に指定されています。

11月には旧城下の賑わいを再現する祭りとして「三原浮城まつり」が行われ、約50人が小早川甲冑部隊として武者行列を行います。



絹本著色
小早川隆景像
（米山寺蔵）



米山寺



宗光寺山門



三原浮城まつり

佛通寺

佛通寺は小早川九代春平が元（中国）で修行した、愚中周及（佛徳大通禪師）を迎えて建立され、600余年の歴史を持つ日本屈指の禅道場として知られています。仏通寺川に架けられている巨蟒橋（きょうきょう）は、蟒蛇が結界を守っているといわれており、この橋を渡れば凛とした空気の大伽藍がそびえ立っています。

一帯は県立自然公園に指定され、山水画のような自然と一体化した姿は美しく、四季折々の景色をお楽しみいただけます。

※蟒蛇＝うわばみ、おろち

三景園

広島空港近くにある三景園は広島県の代表的な景観である里・山・海をモチーフとした日本庭園です。三段の滝、数奇屋風水上建築の潮見亭など見所も多く、大海には雌の錦鯉約500匹、里の池には雄の錦鯉約200匹が泳いでおり、暖かい時期には活発に群がります。園内の売店で餌を購入できます。

瀬戸内海国立公園筆影山・竜王山

筆影山は、海に写ると山の形が筆のように見えることから江戸時代後期の儒者・詩人であった頼山陽の命名といわれており、標高は311mです。竜王山は筆影山の南西に位置し、標高は445mです。

筆影山・竜王山の山頂には展望台を設けており、そこから眺められる多島美は瀬戸内海随一と評され、1950年に瀬戸内海国立公園の一部に指定されています。

晩秋から冬にかけては自然現象である海霧が発生することが多く、写真撮影のスポットとして全国的に知られています。また筆影山の山頂下は一周が400mの園地となっており、春には2000本のソメイヨシノが咲き、花見の名所としても親しまれています。

三原神明市（2月）

山陽路に春の訪れを告げる450年以上の伝統を誇るお祭りで、約500軒の露店が出店します。

期間中は多くの観光客で賑わい、お祭りのシンボル「日本一の大だるま（高さ3.9m、重さ約1.5t）」も掲揚されます。

三景園花まつり（6月）

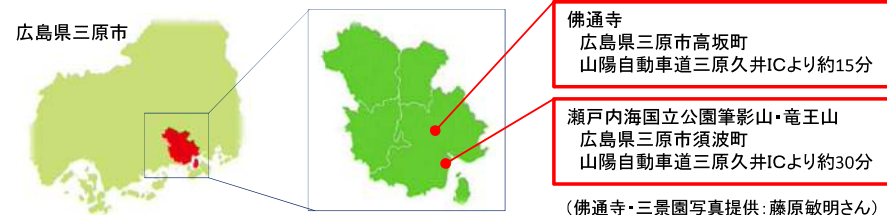
梅・桜・ボタン・スイレンなど1年を通して四季折々の花木を楽しめ、6月に開催される「花まつり」の時期には、100種類1万株のアジサイで埋め尽くされます。

三原やっさ祭り（8月）

伝統の「三原やっさ踊り」を中心に3日間行われ、三原で開催される祭りの中でも街中に活気が溢れる一大イベントです。

3日目の花火フェスタは最終日を締めくくる盛大なイベントとして市内外からの多くの見物客で賑います。

広島県三原市



佛通寺
広島県三原市高坂町
山陽自動車道三原久井ICより約15分

瀬戸内海国立公園筆影山・竜王山
広島県三原市須波町
山陽自動車道三原久井ICより約30分

（佛通寺・三景園写真提供：藤原敏明さん）